

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名		庁舎施設維持管理事務	担当課 管財課
総合計画	政策	地域自治	計画期間 令和 2年度～
	施策	信頼できる行政運営の推進	種別 任意の事務
	基本事業(取組)	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-01 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成2年10月に庁舎が完成し、維持管理事務が始まった。	庁舎や敷地の維持管理を業務委託により行う。 庁舎については守谷市公共施設等総合管理計画に基づき、適宜改修工事を行う。 令和3年度～4年度の2箇年計画で、庁舎増改築工事の基本・実施設計等を実施したが、増築計画は延期となったため、改修工事について計画的に実施していく。また、継続的に実施している庁舎トイレの洋式化工事等についても計画的に実施して行く。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
庁舎や付帯設備の維持管理を行い、市民や職員が快適に利用できるようにする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
庁舎竣工後29年が経過し、庁舎及び備品等の老朽化に伴い修繕費等が増加している。また、庁舎駐車場の不足や庁舎施設が手狭になってきている。	≪庁舎増築≫ R2…庁舎増築基本計画の策定 R3～R4…庁舎増築 実施設計 ≪庁舎駐車場≫ R2…用地取得 R3～R4…駐車場整備工事 ≪修繕工事等≫ R2…議会棟外照明改修工事 R2…外壁防水改修工事設計 R3…外壁防水改修工事 R1～R2…庁舎空調改修工事 ≪その他…R4・R5・R6予定≫ エレベータ交換工事…R6 非常用発電機等更新工事…R6 天井補強工事（内部タイル修繕含む）…R6 庁舎電話交換機設備更新…R6 食堂改修工事…R7 庁舎LED化改修工事…R7 ※修繕箇所、施工時期は各機器等の状況により流動的に変更 となる。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
計画的に庁舎の大規模修繕などを進めることで施設の長寿命化を図る。また、庁舎駐車場や庁舎の増設・増築を検討する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の実績（評価、課題への対応）
	庁舎A棟3階の照明改修、トイレ手洗い自動水栓化、洋式化工事を実施した。また、庁舎内での犯罪等を未然防止し、市民の方々が安心して来庁いただけるよう、庁舎出入口や通路に防犯カメラを設置した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
突発的な修繕件数（件）	32.00	25.00	18.00	32.00	25.00	35.00	32.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	庁舎は築30年が経過しており、老朽化に伴う突発的な修繕件数は増加傾向である。大規模改修に向けた検討を進め、計画的な修繕を実施することにより成果を向上させる。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	今後、庁舎修繕工事を実施することにより、事業費の増加が見込まれるが、優先順位や補修内容を精査し、事業費の平準化を図り効率的に実施する。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	686,693	324,595	256,902	171,993	180,592
	国・県支出金	0	0	7,865	0	0
	地方債	387,000	106,000	0	0	0
	その他	3,350	95,294	139,867	14,176	0
	一般財源	296,343	123,301	109,170	157,817	180,592
正職員人工数（時間数）		777.00	1,091.00	1,250.00	0.00	0.00
正職員人件費		3,145	4,221	4,820	0	0
トータルコスト		689,838	328,816	261,722	171,993	180,592

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	普通財産維持管理事業	担当課	管財課
総合計画	政策	地域自治	計画期間 年度～
	施策	信頼できる行政運営の推進	種別 任意的事務
	基本事業(取組)	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-02 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
普通財産の適正管理を行うため実施した。	未利用市有地は入札等により売却し、財源確保を図る。また、業務委託により除草等を行い維持管理を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
利用計画のない市有財産の有効活用及び除草等の適正管理を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
利用計画のない市有地の維持管理費用が生じている。	≪市有地の売却≫ ○予定地 ・久保ヶ丘四丁目28地内（約500㎡） ・百合ヶ丘三丁目字向原地内外 平成式典側 1388.23㎡ セブンイレブン側 393㎡ ≪予定≫ 7～8月 売却方針の検討 9～3月 調査業務（不動産鑑定） R3.4月以降 契約行為（入札等）の実施
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
売払可能な市有地については売却を行う。 売約可能な市有地を売却するために調査業務等の委託を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の実績（評価、課題への対応）
	守谷市百合ヶ丘三丁目237番2外9筆（地積1,387.39㎡、210,300,000円）、本町686番73（地積86.63㎡、3,020,000円）を売却した。未活用地については、管理上必要最低限の経費で除草等の維持管理を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
貸付面積（㎡）	10,209.00	10,109.00	10,109.00	10,209.00	10,347.00	10,347.00	10,347.00
売却面積（㎡）	10.45	0.00	7,488.23	10.45	68.17	1,474.02	517.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	守谷市百合ヶ丘三丁目237番2外9筆（地積1,387.39㎡）、本町686番73（地積86.63㎡）を売却したことにより管理面積が縮減した。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	未活用地については、維持管理費が発生するため、売却や賃貸等の利活用について引き続き検討し、管理面積の削減に努める。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	34,351	46,614	6,376	35,818	37,608
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,399	1,198	1,153	34,440	0
	一般財源	32,952	45,416	5,223	1,378	37,608
正職員人工数（時間数）		359.00	511.00	780.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,453	1,977	3,008	0	0
トータルコスト		35,804	48,591	9,384	35,818	37,608

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	公用車配置事務	担当課	管財課
総合計画	政策	地域自治	計画期間 年度～
	施策	信頼できる行政運営の推進	種別 任意的事務
	基本事業(取組)	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-04 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>公用車が増加し効率的な配置及び管理が必要になったため。</p>	<p>公用車の状態管理を行い、適正な車両の購入、廃車を行うとともに、任意保険の加入事務及び事故があった際の保険請求を行う。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>公用車の適正な管理を行い、効率的な利活用を進める。また、公用車の一元管理を行うことで、公用車台数の削減や事務の効率化を図る。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>公有財産の有効活用と適切な管理を行う。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>公用車の配置や維持管理・更新が適正に行えている。</p>	<p>特になし。</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>特になし。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の実績（評価、課題への対応）
	公用車の管理について、任意保険の加入、車検、修繕等の維持管理を一元管理により実施した。今年度は特殊車両の任意保険についても一元的に契約し経費削減を行っている。また、公用車の購入に当たっては、地球温暖化対策の一環として、二酸化炭素の排出抑制のため、電気軽自動車1台を導入した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
一元管理公用車稼働率（年間：日単位）（%）	52.21	59.74	59.04	52.21	52.20	52.83	60.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	今年度もコロナ禍の影響により会議等の縮小、WEB会議による対応が増加し、出張等の機会が減ったことにより昨年同様横ばいとなっているが、今後は、新型コロナが5類へ分類されたことにより、増加が見込まれる。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	管財課で管理している一元管理対象の公用車を増やすことにより、より適切な車両管理、配置を行い経費の削減に努めていく。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	13,055	15,675	11,282	19,676	20,659
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	13,055	15,675	11,282	19,676	20,659
正職員人工数（時間数）		158.00	336.00	170.00	0.00	0.00
正職員人件費		640	1,300	656	0	0
トータルコスト		13,695	16,975	11,938	19,676	20,659